



五福っ子



令和6年11月7日発行 No.10

秋風を感じて

11月6日(火)昼休み。運動場に、子どもたちの列ができていました。列の先頭には、小さな茶色の子牛が一頭、柵で囲まれた中に、おとなしく佇んでいました。大きな黒い瞳にぴんと開いた耳、声を上げることもなく、大きく動くこともない、おっとりとしたかわいらしい子牛でした。その子牛に少しでも触れたいと、子どもたちは並んでいたのです。茶色の毛並みを優しくなでたり、尻尾をつかんでみたり、思い思いに体を触っていましたが、子牛は嫌がる様子も見せず、子どもたちの好きなようにさせてあげているような、そんな余裕を感じさせていました。生まれてまだ6か月の子牛なのに、大した貫禄です。



五福小に子牛が来るのは、今年で4回目。毎年、4・5年生の社会科の学習のために、はるばる蒜山の牧場から、トラックに乗って、高速道路を走って、秋風の中やって来てくれているとのことでした。

酪農の学習としては、子牛と同じくらい大きさの牛の模型で疑似搾乳体験をしたり、聴診器で子牛の心臓の音を聞いたり、ジャージー牛からとれた牛乳で作ったヨーグルトをいただいたりと、五感を使った、貴重な学習をすることができました。

五福小学校に、立派な菊の鉢が届きました。

届けてくださったのは、地域にお住まいの、柴田泰三さんです。柴田さんは、趣味で菊の栽培をされて5年以上になるそうです。

五福小の子どもたちに秋の花を楽しんでもらいたい、登校してくる子どもたちや来客の皆さんに見てほしいと、丹精込めて育てられた大切な菊を、玄関に飾ってくださいました。

少し涼しくなってきた秋風に揺られながら、玄関を美しく彩ってくれている大輪の菊。五福小へお越しの際には、ぜひご覧ください。

